

博士課程

2020

授業科目〈シラバス〉

沖縄県立芸術大学大学院
芸術文化学研究科

授業科目〈シラバス〉について

この「2020 授業科目〈シラバス〉」は、令和2年度に大学院芸術文化科学研究科で開講される（一部休講科目を含む。）授業科目について、各担当教員から提出された授業科目〈シラバス〉をまとめたものです。履修計画や年間の学習計画を立てる際に利用してください。

なお、履修案内については、別冊「履修便覧」に記載しています。

1. 集中講義科目については、単位数・学期欄の（）内に表記されています。
2. 担当教員名欄には、科目の指導担当教員全員の氏名が記載されています。
3. 担当教員名欄の（客）は客員教授を、（非）は非常勤講師を表します。
4. 履修上の留意点には、履修の条件や注意事項のほかに、履修にあたり心掛けるべき点、学生への要望等が記載されています。

大学院芸術文化学研究科開設授業科目一覧表

科目コード	科目名	単位	学期	履修年次	授業区分	ページ
90112	芸術表現総合比較研究Ⅰ	2	通年	1・2	演習	1
90113	芸術表現総合比較研究Ⅱ	2	通年	2・3	演習	2
90228	比較美学研究A	2	後期	1・2	講義	3
90229	比較美学研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	4
90230	比較芸術学特殊研究A	2	前期	1・2	講義	5
90231	比較芸術学特殊研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	6
90242	日本芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	7
90243	日本芸術批評史研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	8
90244	東洋芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	9
90245	東洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	10
90234	西洋芸術批評史研究A	2	後期	1・2	講義	11
90235	西洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	12
90216	民族工芸論研究	4	通年	1・2	講義	13
90217	映像論研究	2	前期(集中講義)	1・2	講義	14
90246	日本芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	15
90247	日本芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	16
90248	民族芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	17
90249	民族芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	18
90251	東洋芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	19
90252	東洋芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	20
90250	民族芸術学特論	2	後期(集中講義)	1・2	講義	21
90253	比較民俗学研究A	2	前期	1・2	講義	22
90254	比較民俗学研究B	2	後期	1・2	講義	24
90238	東洋工芸史研究	4	通年	1・2	講義	26
90220	西洋音楽史研究	4	通年	1・2	講義	27
90221	日本音楽史研究	4	通年	1・2	講義	28
90223	民族音楽学研究	4	通年	1・2	講義	29
90224	琉球音楽論研究	4	通年	1・2	講義	30
90225	民族舞踊学研究	4	通年	1・2	講義	31
90226	民俗芸能論研究	4	通年	1・2	講義	32
90227	琉球楽劇論研究	4	通年	1・2	講義	33
90239	楽曲分析研究	2	後期	1・2	講義	34
90240	アートマネジメント研究	2	通年	1・2	演習	35
90241	芸術学研究	2	通年	1・2	講義	36

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90230	比較芸術学特殊研究A (偶数年度開講)	2単位 前期	1・2	講義	土屋誠一

■テーマ 作品およびテキストの深い読解

■授業の概要

第2次大戦後以降の現代美術の理論について、作品およびそれに関するテキストの読解をし、他の表現領域(写真、映画 etc.) や、表象をめぐる政治学との比較考察を目的とする。

■到達目標

作品やテキストの読解力を身につけること。

■授業計画・方法

下記はあくまで目安であり、受講者の関心や必要性に応じて、授業内容は検討する。研究や実制作に役立つ理論的ツールを提供することを主眼とするためである。

第1回 インTRODクシヨン

第2回 現代美術(基礎編)

第3回 現代美術(作品分析編)

第4回 現代美術(テキスト読解編)

第5回 現代美術(総合的分析編)

第6回 映像芸術(基礎編)

第7回 映像芸術(作品分析編)

第8回 映像芸術(テキスト読解編)

第9回 映像芸術(総合的分析編)

第10回 現代建築(基礎編)

第11回 現代建築(作品分析編)

第12回 現代建築(テキスト読解編)

第13回 現代建築(総合的分析編)

第14回 その他、現代の諸芸術

第15回 総括

※定期試験は実施しない。

■履修上の留意点(授業以外の学習方法を含む)

・漫然と講義を聴くだけでなく、履修者の主体的かつ積極的な授業参加が求められる。

■成績評価の方法・基準

【方法】受講態度(100%)

【基準】予習復習含め、授業内容の理解度で成績を判定するので、受講態度で判断する。

芸術文化学研究科(博士課程)の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献(資料)等

教科書 特になし

テキスト 講義の過程で適宜紹介する

参考文献 講義の過程で適宜紹介する